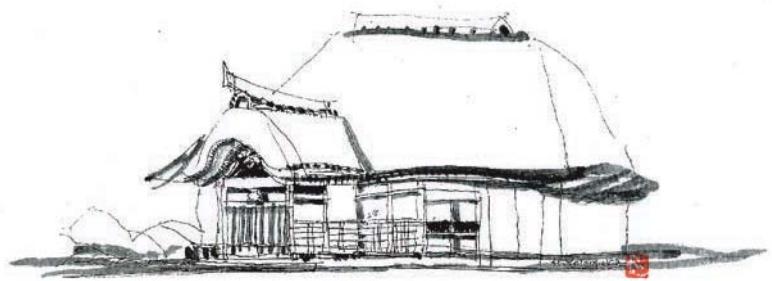


(2017-18年度 国際ロータリー・テーマ)



ロータリー：
変化をもたらす



県指定文化財「富岡家住宅」(土浦市)

【卓 話】

新しい茨城づくりについて

茨城県知事 大井川和彦 氏



茨城県知事の大井
川でございます。今
日はよろしくお願ひ
いたします。

改めて茨城県の新
しい政策がどういう
形で予算としてつく
られてきたのかとい
うことを理解してい

ただければと思いますし、私の今後の施政と
いうことも是非ご理解いただければと思います。

そもそも去年の選挙戦を通じて、私がいろ
いろ学んだことを含めて茨城というのをどん
な風に考えたかというと、まずインフラの整
備です。圏央道の4車線化の着手、つくばエ
クスプレスの快速乗り継ぎの利便性向上、常
磐線、茨城空港の台湾と韓国でチャーター便
が就航。茨城港でも常陸那珂港区で新しい工
事が始まり、着々と北関東における茨城県の

交通の利便性という意味では非常に向上して
いると言えると思います。一方で企業立地に
ついて、茨城県は恵まれております。実際に
圏央道の完成直後、県南の工業地帯を中心
に非常に進出企業の引き合いも多いというのも
事実です。また農業の産出額が全国2位だ
ということを誇っているわけです。大農業県と
いう名をほしいままにしているというのが茨
城県の共通した見方ということかなと思います。

実は私は去年の選挙の時に最初に一番困った
のは争点を作るというところでした。生活を
どうしたいと言っても県民の皆さんには困っ
ていないよという状況に至ったというのが事
実です。あとはインバウンドがものすごく増
えているという話もありますが、よくよく分析
してみると実はちょっと違った姿が見えて
参ります。人口の減少、少子高齢化、そ
ういう中で労働人口はさらに少なくなっています。
例えば全国1位という工場立地、では

No. 39 2018・4・24

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>

水戸ロータリークラブ

■会長 砂押 憲正 ■幹事 衣笠 勤

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

どれだけ従業員の雇用を生み出しているのか、どれだけの質の高さなのか。質のところまで掘り下げてみると、いろいろ課題が見えてきます。農業も全国2位と言って胸を張っていますが、本当に儲かっているのですか、何で後継者不足とか耕作放棄とか、そんな話が出てくるのだろうと不思議に思って見てみると、やはり所得として儲かっていないのです。全国2位の産出額にも関わらず、農家1戸当たりの所得は全国9位なのです。茨城県の場合、農家1戸当たりの平均所得は年間約370万円と言われています。隣の千葉は約470万円です。一番高いところは1,500万円くらい儲けています。観光地もものすごくインバウンドが増えてきていると言っていますが、実際に茨城県よりも全国はもっともっと増えているのです。茨城県は観光地としてもっと伸びる可能性、ポテンシャルを持っていますが、努力をしなければいけないということなのだと思います。

私は人生の中で2つの印象を受けました。1つは50年来住んでいた日立市です。我々が小学校、中学校時代を過ごしていた頃の日立市はものすごく栄えていました。日立製作所がビジネスでも非常に好調で、海岸工場と言えば、日立の花形でした。駅から奥まった繁華街では、土日は肩が人にぶつからないように歩くのが大変なくらい人で賑わっていました。しかし今はほとんどシャッター通りです。日立製作所の非常に好調な時の日立市というのは私の一つの原点です。もう一つの私の原点はシアトルです。私はシアトルには結構縁がありまして、通産省時代にシアトルのワシントン州立大学ロースクールに2年間留学しました。その後私が転職したところがマイクロソフトで本社がシアトルにあるのです。今は立派に見えますが、森の中の東海岸のニューヨークからすれば一番はずれの森の中のカナダの国境に近いところなのです。まわりが山と海と湖という自然の豊かなところだったのですが、これだけ発展した理由の一つがやはりボーリングという巨大会社の本社があります。マイクロソフトという会社が本社をここに持ってきて、その後、スターバックス、アマゾンと次々と世界の巨大企業がこのシアトルに本社を構えます。その周辺にいろいろな企業がやってきます。新しいベンチャーがどんどん

生まれてきます。シアトルは決して気候が良いところではありませんが、非常に豊かなアメリカ人が住みたい場所になっています。私はやはり豊かな仕事が生まれると非常にいい循環が地方でも起きるのだというこの2つをヒントにしました。フランスは農業国ですが豊かです。農業国と言いながら単に作ってそのまま例えればブドウを出荷するのではなくて、それをワインとして、ワインをブランド化して高値で引き取られる、だからこそあれだけ豊かな農業国が生まれるということも言えると私は考えています。そういう意味で茨城県が豊かになるヒントは例えばかつての日立市、今のシアトル、今のフランスなんかでいろいろヒントがあるのではないかというのが私の発想の原点でした。ということで4月からの予算が新しい茨城県の実質的なファーストステップになるだろうと言えると思います。

実はこの新しい豊かさというチャレンジの中で3つ大きく特出しさせていただきました。まず企業誘致です。県職員の皆様との議論の中で浮かんできたのが、研究施設や本社の誘致補助金です。金を積めば来るという発想自体がそもそも短絡的かもしれません、何もないでは来ません。プラス茨城県の可能性というものを、あるいはある分野への潜在力というものをセールスしながら企業誘致かつ目標を高く持った研究施設とか本社を呼びます。もう一つ、ベンチャー企業の育成です。やはりシアトルのマイクロソフトやアマゾンや、そういう企業が生まれるということが非常に重要です。千に一つもない可能性なのかもしれません、例えばそこからブレイクして大きな企業が育てば、その町、あるいはその県は一変します。本当に天才的な優秀な人間がそこに競って集まり、そこから起業家として巣立って行く、そういうユニコーンという何百億といういきなり上場する前から値段が付くような起業家も生まれてきました。その可能性を、私は茨城県は最初から諦めるべきではないと思います。この茨城でベンチャー企業の可能性を探っていきます。そのためには多くのプログラムに選択と集中をしながら資金を投下する、あるいは仕掛けを作ることをしています。

農業は、先程ご紹介しましたように、産出額

2位と言って胸を張っていては私は茨城の農業はこれからどんどん人口が減少する日本の中で生き抜いていくことは難しいと考えています。儲かる農業をつくるにはどうしたらいいでしょうか。高く売ることがまず必要です。高く売るためには客を増やすことが必要です。客は日本だけではなくて海外にも求めなければいけません。高く売るためには加工するなりブランドを作るなり、工夫をしなければなりません。今の茨城の農業は値段は市場が決めてしまうものと最初から諦めているんです。別な流通ルートを作り、別な顧客を作りそれで良い付加価値をつければ2,000円のものを3,000円で売るチャンスが出てくるはずです。努力をする事により、少しでも事例を作ることが必要だと思っています。海外で売るためのプロモーションも県としてもしっかりやっていく一方で、差別化ができない農作物、資源、製品もあります。そういう場合、やはりコストを下げていくことが必要です。農業の場合コストを下げるのに最も効果的なのは農地の集約化です。私は本当の意味での集約化というのはある一定の土地に飛び地ではなくて集約して土地をまとめ、そこに効率的な農業を作る事だと思います。効率的な農業はコストが安いので、利幅が増え、利幅で再投資をし、ITを使い人を雇うことで良い循環の企業経営が生まれます。それが優秀な農業、農地集約の目的だと思います。

次に安心安全です。安心安全の中で私は一番問題視するのが医師不足です。茨城県は人口当たりの医師の数が全国でビリから2番目、一番少ない埼玉県の次に少ないんですね。でも埼玉県は東京に隣接していますからいざとなれば患者さんはみんな東京に行けるんです。ということで実際に一番困っているのは茨城県ではないかなと思います。ただこの医師不足というのは非常に曲者です。どんなに医師の数が多い県でも医師不足と今騒いでいます。なぜかというと医師の業務がどんどん細分化され、その細分化された業務ごとに医師を張り付ける、看護師を張り付ける、これではいくらても足りません。かつ高齢化が進んでいくということになっている中で最低限、救急医療センター、救急医療、第二次救急医療、第三次救急医療というしっかりとした体制だけはきちっとすることが住民の

安心安全にとって不可欠です。何かあった時に入院できる産婦人科がなかったら怖くて子供を産めません。私は非常事態宣言として、「医師不足緊急対策行動宣言」を打ち上げ、その中で対策を講じます。例えば有名な医学部教授を大使に任命して私と一緒に営業してもらいます。また、医学部に進学したいという茨城の高校生、例えば水戸一高はなかなか医学部にあまり行かないんですね。文系志向が強く、自分も文系だったの文句は言えませんが、もうちょっと医学部に行ってくださいということで、実質金利ゼロの医学部向けの教育ローンを作りました。あるいは子育て医師、女医さんです。医師不足の一つの理由は女医さんが結構増えているということなんです。女医さんは、子育てとの両立がある時期非常にむずかしくなって継続してキャリアを積むことが難しくなります。最大のネックは教育です。自分の子供を行かせたい高校あるいは大学がないのです。大学は東京に行くとしても高校がないというのがよく言われる話です。いきなり進学校を作るというのもなかなかハードルが高いです。まずは茨城ならではの独自の時代のニーズに合った教育プログラムを作ることでこれらの将来を考えた時に必ず必要になってくる英語、プログラミング、まさにこれから時代の標準語です。この2つの能力を持っているか持っていないかで恐らく生涯収入がものすごく変わるはずです。文法理解ばかりしているのではなく本当に使える英語をやる、かつトップレベル、やる気のある人にどんどん才能を伸ばしてもらいます。全体を上げるということにこだわりすぎて、予算がないから人がいないからやらないというのは今までの典型的な行政の仕事の仕方です。しかしそうではなくて、やる気のない人はやらなくていい。やる気のある人だけどんどん伸ばす。そういう時代になってもいいと思うのです。人材としてもこのプログラミング、これができる人間というのが今ものすごく足りないです。これができるかできないかで、私は茨城県に対する企業の見方が大きく変わると思います。それから最後の就学支援金。これは要するに給付型の奨学金ですね。返さなくて結構です。但し条件は「茨城に戻って来る」ということです。

最後になりますが夢と希望ということで、魅

力度ナンバーワンプロジェクトと、是非茨城の魅力を訴えていきたいと思います。観光というのは非常に経済波及効果が大きいです。観光客はたくさんお金を使います。そのお金がホテルやお土産やいろいろなを通じて地元経済に対する付加価値が非常に高いです。観光だからみんな力を入れているのですが、茨城の場合、最大のネックはものすごく有名な観光地がないということに加えて、もう一つ最大のネックはホテルなのです。一定のレベル以上のホテル、旅館が非常に少なく困っています。一点突破、最大10億円の大きいホテル、高級ホテルに来てもらう、あるいは作ってもいいという話ですね。それによって一つの大きなボトルネックを解消しないと茨城県は観光地としてはもうこれ以上は成長する余地が少なくなっています。日帰り客だけでは経済波及効果が非常に限られています。どの地域のどういうお客様、どういう人たちをどういう風に誘って連れてくるかは、マーケティングの発想です。物を売るにしても何にしてもターゲットを決めてそのターゲットに対して何を売ったらしいかというのをしっかり考えてプロモーションして台湾からのインバウンドもどんどん増えてきます。それからアンテナショップ、銀座に茨城マルシェがあります。県がアンテナショップ

を持つ意味というのは何なのでしょう。儲けることじゃないです。茨城県の宣伝の為です。赤字が出たっていいんです。赤字を出しても茨城県のブランドを高める、茨城県の新しい挑戦をし、いろいろなものを市場に出して市場の反応を見る実験場にするとか、いろいろな価値があるはずです。これは茨城を代表する場所じゃないやならない。だからこそ銀座においているのです。だから今度大幅にイメチェンしてリニューアルオープンさせますので是非ご期待していただければと思います。昨年末、大幅な組織改正をさせていただき、営業戦略部を作りました。茨城県の魅力をどう売り込むか、そのために営業というのは非常にクリエイティブな仕事です。自分たちの強みを分析して誰に対してどの強みがどこの人に当てはまるかということを考えながらその人をターゲットにアプローチしてどの様に発信していくかも考えなければいけません。そういうクリエイティブな作業をしっかりとやるというのは私は非常に価値のあることだと思っています。私の茨城県政の方針は選択と集中です。この時代背景を考えた時には私は企業と同じで選択と集中をしていろいろな実験に挑戦する。挑戦する中で間違いを直し、どんどん自分も変わっていくことが大事なのではないでしょうか。

例会報告

4月第4例会

司会 大関委員

◇ ビジター紹介

斎藤親睦活動委員長

水戸西ＲＣ 黒木 雅宏 会員

◇ ゲスト紹介

茨城県知事 大井川和彦 氏

秘書課係長 尊田 俊一 氏、他1名

水戸市市長公室 国体推進局

　　局長 小嶋いつみ 氏

水戸市市長公室 国体推進局 国体総括課

　　課長 村沢 晶弘 氏

◇ 茨城ゆめ国体開催について

水戸市市長公室 国体推進局

局長 小嶋いつみ 氏

水戸ＲＣさんの例会の貴重なお時間を頂きまして、2019年に茨城で開催されます「いきいき茨城ゆめ国体」における水戸市の取り組みのPRをさせていただきます。「いきいき茨城ゆめ国体」は開会式並びに閉会式を茨城県が担当致します。また74競技を各市町村が担当致します。本日お配りした資料をご覧頂きますと水戸市は最多の11競技を担当することになっております。水戸市の国体の運営方針ですが、まずは水戸の魅力を発信する国体であること、特色を生かし創意工夫を図る国体であること、スポーツの振興を図る国体であることの三つを目標に掲げております。このことにより三つの効

果を期待しております。水戸市に来て頂いた方による経済効果と、来て頂いた方々にリピーターになって頂くこと、そしてスポーツ振興を通じて健康なまちづくりを推進することです。また国体開催に向けて東町運動公園の改修と北口ペデストリアンデッキの改修、そして水戸城跡周辺の整備を行っているところであります。国体が開催されます来年は水戸市制130周年の節目の年でもあり、オール水戸で茨城県とも連携しながらこの大会を盛り上げて参りたいと思います。是非とも水戸ＲＣの皆様にもご支援賜りますようお願い申し上げます。

◇ 会長の時間

砂押会長

今日は、水戸ＲＣの名誉会員であり茨城県知事の大井川和彦氏に初めて例会にご出席いただき、卓話をいただきます。会員一同これからのお「新しい茨城づくりについて」楽しみにしておりますのでよろしくお願ひいたします。

さて、先週末、標高1000mの新潟県十日町へ親睦旅行に行ってまいりました。あてま高原リゾートベルナティオでは今まさに桜が咲いており、なんと熊も出没する場所だそうです。前会員の河合さんは現在新潟県で代表取締役会長をされており、皆様によろしくとおっしゃっておりました。

昨日は地区大会記念ゴルフ大会が太平洋クラブ美野里コースで開催され、200名が参加、清水会員が優勝、吉原会員が第3位でした。水戸ＲＣ初の快挙だと思います。おめでとうございます。

今夜は4名の新会員オリエンテーションがあります。よろしくお願ひします。

◇ 出席報告

沼田委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
111名	67名	44名	66.34%

前週訂正出席率 78.64%
前々週訂正出席率 77.14%

◇ 会員メークアップ

4/17 地区青少年奉仕合同委員会

内藤 学、高貴 修、沼田 元良

4/18 地区クラブ奉仕委員会

長野 久嗣、大久保博之、宮田 武範、白田 礼治、片岡 宗巣

4/19 東京米山ＲＥＣ2750 秋山 現信

4/21 次年度 I A 委員長並びに顧問会議 鈴木 勝彦

4/23 地区大会記念ゴルフ大会

砂押 憲正、小林大次郎、清水 洋一、川名 信博、足立 修、薄井親一郎、吉原 清寿、宮沢 敏夫

◇ にこにこBOX

吉原委員長

砂押会員……名誉会員で茨城県知事の大井川様、本日はありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

中村(三)会員……4月17日新たに入会させていただきました。御指導よろしくお願い申し上げます。

安(徹)会員……ただ何となく。

八文字会員……連休前ですので。

内田会員……特になにもありませんが。

内藤会員……本日夜、第4回オリエンテーションです。よろしくお願い致します。

清水会員……地区大会記念ゴルフ大会で優勝する事が出来ました。ありがとうございます。

山口(晃)会員……齊藤親睦活動委員長、旅行の企画ありがとうございました。

土子会員……新潟への旅行、楽しんで行つきました。

齊藤(佳)会員……無事に帰つてまいりました。親睦旅行に参加して頂きありがとうございました。

遠山会員……大井川知事のお話、楽しみにしております。

石井会員……妻誕生日祝い有難うございました。

高貴会員……妻の誕生日プレゼントありがとうございます。

宮本会員……妻の誕生日祝いありがとうございます。吉原会員……地区大会記念ゴルフ大会で3位になりました。

本日の合計	15件	80,000円
4月の合計	64件	388,100円
累計	410件	2,382,360円

◇ 財団 B O X

八文字典昭会員……財団の友献金

(第6回) \$100 10,400円
(累計 \$2,600)

内田 浩司会員……財団の友献金

(第8回) \$100 10,400円
(累計 \$1,800)

大関竜太郎会員……財団の友献金

(第1回) \$100 10,400円
(累計 \$100)

この計	3 件	31,200円
-----	-----	---------

◇ 米山 B O X

大関竜太郎会員……準米山功労者献金

(第1回) 10,000円
(累計 10,000円)

この計	1 件	10,000円
-----	-----	---------

- 4) 夜の例会の開催について
- 5) 中期計画特別委員会について
- 6) 5月・6月の例会プログラムについて
- 7) 会計報告
- 8) その他

4. 土浦ロータリークラブ創立60周年記念式典が挙行されます。

とき 5月12日(土)

記念式典 14:00~15:40

祝宴 16:00~18:30

ところ ホテルマロウド筑波

土浦市城北町2-24

T E L 029-822-3000

出席者 井上 壽博パストガバナー

砂押 憲正会長

衣笠 勤幹事

◇ 幹事報告

衣笠幹事

1. 次年度第1回第3分区会長幹事会が開催されます。

とき 4月27日(金) 18:30

ところ バーナヴァン・ピノ

議題 1) ロータリーデイについて

2) その他

会費 5,000円

出席者 牧 厚志次年度会長

二川 泰久次年度幹事

2. 4月29日(日)に、地区研修・協議会が水戸プラザホテルにて開催されます。次年度役員理事及び次年度地区委員の方々ご出席お願い致します。

3. 5月定例理事会が開催されます。理事・役員の方々のご出席をお願い致します。

とき 5月8日(火) 11:30

ところ 例会場

議題 1) 新会員所属委員会について

2) 退会会員について

3) 次年度青少年長期交換学生
(インバウンド)について



週報担当 二川 泰久 委員長

例会予告

5月15日(火)

—イニシエーションスピーチ—

卓話「水戸市のこれからの中づくりと

新市民会館について」

水戸市長 高橋 靖氏

5月22日(火) 18:30

於 三の丸ホテル

卓話「音楽で人々に勇気と元気を!」

YESBAND

5月29日(火)

—イニシエーションスピーチ—

卓話「私の生き立ち」

大関竜太郎 会員

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……